




# デジタル印刷の活用により 付加価値創出に重点をおく精工

精工は1911年に創業した三世代目となる日本のファミリービジネス企業です。現在、同社は日本でも有数の軟包装コンバーターとなりました。業界での主導的な地位を保持し、イノベーションを推進しながら、競争力を維持するために、同社はデジタル印刷技術に常に投資してきました。

 株式会社 精工

業種：軟包装

事業名：株式会社精工

本社：日本

証言者：林正規氏(専務取締役)および中田純也氏(デブリ課課長)

HP印刷機：HP Indigo 20000デジタル印刷機2台、HP Indigo WS6600デジタル印刷機1台、  
HP Indigo WS6000デジタル印刷機1台、HP Indigo ws4500デジタル印刷機1台

売上高：97億7300万円



## 課題

「お客様が何を要望になるかは日によって大きく異なりますが、柔軟性を維持し、お届けする製品をニーズに合わせられるようにしておくことが常に最大の課題となっています。この課題を解決すれば、素晴らしいビジネスチャンスがもたらされます。」

林正規、精工専務取締役



## オンデマンドの小ロット印刷で様々なサイズの高品質パッケージに対応

精工は、早期導入者と評価されることを前向きに捉えています。グラビア印刷機を補完する位置づけで、デジタル印刷を活用した強固なインフラを構築するためある程度の時間を要する可能性を感じていた同社は、2000年にデジタル印刷機に投資を開始しました。

「当時、市場ではまだデジタル印刷を受け入れる準備ができていませんでした」と林専務は振り返ります。それ以来、その状況は劇的に変化しました。現在、日本のフレキシブルパッケージング（軟包装）市場はデジタルにしか提供できないサービスが必要としています。「最近のお客様は、印刷する情報の内容をさまざまに変えられる、オンデマンドの小ロット印刷を選択されます。より具体的には、製品開発と消費者調査のために当社のパッケージングを選択頂いています。」と林専務は話します。

「オンデマンド印刷は、小ロットでも非常に効果的です」と同氏は続けます。「小ロット印刷が利用可能になったことで、複数の製品をもつブランドの新たな市場が開拓されました。当社にとって唯一の制限といえば、提供できるパッケージのサイズが限定されているということくらいです。」

精工の主要な顧客の一つに、創業90年以上の歴史を誇る強固な顧客基盤を持つ洋菓子製造会社のコロパンがあります。「当社の対象市場は百貨店や、鉄道駅や空港構内の店舗です。当社では長年にわたり精工と提携してきました。当社の菓子を包装する個包装のパッケージフィルムを供給していただいています」と、コロパンの太田真裕取締役商品部長は話します。

「最近、お客様のニーズが変化してきています」と太田氏は続けます。「個別のお客様用にオリジナルのパッケージングを作成するサービスへの需要が高まってきています。唯一の解決策は小ロット印刷ですが、これはかつてグラビア印刷では不可能なことでした。」

## ソリューション

「当社は、ワイドフォーマットのデジタルウェブ印刷機の発売を長年待っていました。HP Indigo 20000デジタル印刷機は適切なソリューションであることを実証してくれました。当社が必要とする、軟包装市場の需要を満たしてくれています。」

林正規、精工専務取締役



## よりワイドなフォーマットの印刷機は軟包装に対応し、無駄を削減します

HP Indigo 20000デジタル印刷機がdrupa 2012（2012年国際印刷・メディア産業展）で発表される頃までには、精工では印刷機を検討して十分に評価するためのインフラの体制が整っていませんでした。「過去2年間を通じて、当社はHP IndigoのR&D活動の一端を担い、HP Indigo 20000デジタル印刷機の開発進捗を追ってきました。」と林氏が証言します。「印刷機の設計の基準として軟包装への印刷工程が考慮されているため、当社の現行の製造ワークフローとの親和性はとて高く満足しています。」

新開発のプライマーは、新たな塗布システムの堅牢な設計と併せて、生産効率を向上させました。これにより、より幅広い素材を扱う能力が増強されたほか、ラミネーションのような仕上げ工程の作業効率も高まりました。」

精工の中田純也課長は、この新しい印刷機はより汎用性があり効率的だと証言します。「印刷機は30インチの幅に対応しているため、大型の袋を製造できます。これは従来グラビア印刷機ではできなかったことでした。現在は、様々な寸法の袋に臨機応変に対応できます。1つのロールから、より多くのフォーマットを製造することが可能です。袋のサイズによっては複数の印刷ジョブを一括処理したり、1つの大きなロールを使って中から大ロットの印刷を行うこともできます。これにより無駄が削減されます。」

林氏は、これによりコロパン社が求める小ロット対応と消費者に対する多様性というニーズにどのように対応できるかを説明します。「従来、コロパン社にはグラビア印刷機で大ロットの印刷のみを提供してきましたが、デジタル印刷を活用することで、必要な時に必要とされる正確な数量を、必要とされる任意のデザインで提供することができるようになりました」と林氏は説明します。

## 成果

「すべての商品でオリジナル性を実現することが可能なら、それは極めて大きな付加価値をもたらします。その付加価値によって消費者の心を掴んでいきたいと思っています。」

(株)コロパン 取締役商品部長、太田真裕氏



## 市場の要求に応じて新たなソリューションを支援

HP Indigo 20000デジタル印刷機は、同社の市場に最適なソリューションです。「当社は、食品包装における安全基準に対するHPの配慮に感銘を受けました。軟包装業界で製造される製品の半分は、食品の包装に用いられます。HPは、安全な印刷を可能にするために必要な適合性を提供してくれます。」

HP Indigoデジタル印刷機の性能により、精工は、柔軟で競争力の高いサービスを提供できるようになったと中田氏は説明します。「HP Indigoデジタル印刷機を利用することで、従来グラビア印刷では難しかった、きめ細かいグラデーションや極めて細かいテキストの再現が可能になりました。」

「HP Indigoの強みの一つは、バリエーション印刷であり、精工はHP Indigo 20000と併せて、HP SmartStream Mosaic自動デザイン機能を利用して、コロパン社向けには個包装一つ一つのデザインを変えようという革新的な企画を実現しました。」

「HP Indigo 20000デジタル印刷機のおかげで、精工はお客様の課題に継続的に対応していくことができます。」と林氏は述べています。」



Get connected.  
hp.com/go/graphicarts



記載内容の著作権者および商品名は、各社の商標または登録商標です。記載事項は2013年6月現在のものです。本カタログに記載されている情報は取材時  
掲載された時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。©Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 日本ヒューレット・パ  
ク 136-8711 東京都江東区大島2丁目2番1号